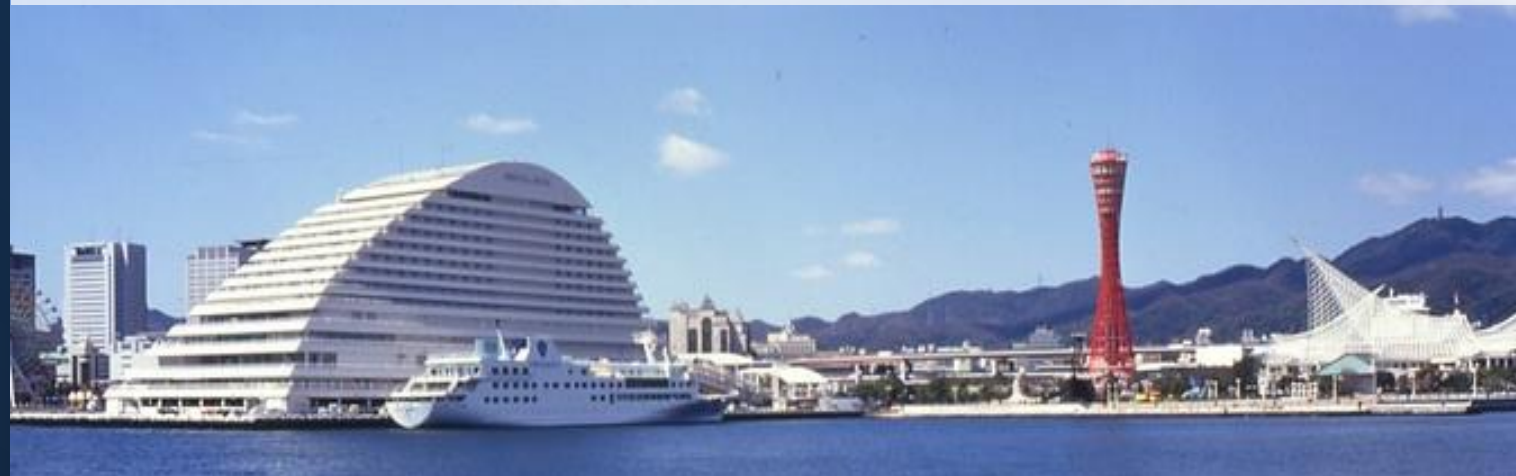


# Bible Forum in KOBE

~KOBE MOTOMACHI Bible Forum~



~KOBE Bible Forum~



ニックネーム  
KBF(神戸ビーフ)  
KMBF(コンビーフ)

# 第4回

## 神戸元町聖書フォーラム

クレイ聖書解説コレクション  
「ヨハネの黙示録」講解メッセージ

**黙示録6：1～7：17**

2016 / 4 / 16(土)

# お願い！

このパワーポイント資料は

## Clay クレイ聖書解説コレクション 「ヨハネの黙示録」

を基に作成しております。

ハーベスト・タイム・ミニストリーズから発売の  
電子書籍版か書籍版(紙版)テキストと合わせて  
必ずご参照・ご活用下さい！

\*神戸聖書フォーラムでまとめ買いしております。  
お求めの際はお気軽にお声掛け下さい。

# 1. イントロダクション

1. 神のご計画の全貌（全体構造）を再確認！



2. 終末論の全貌（全体構造）を再確認！



3. 「ヨハネの黙示録」の全体構造を再理解！

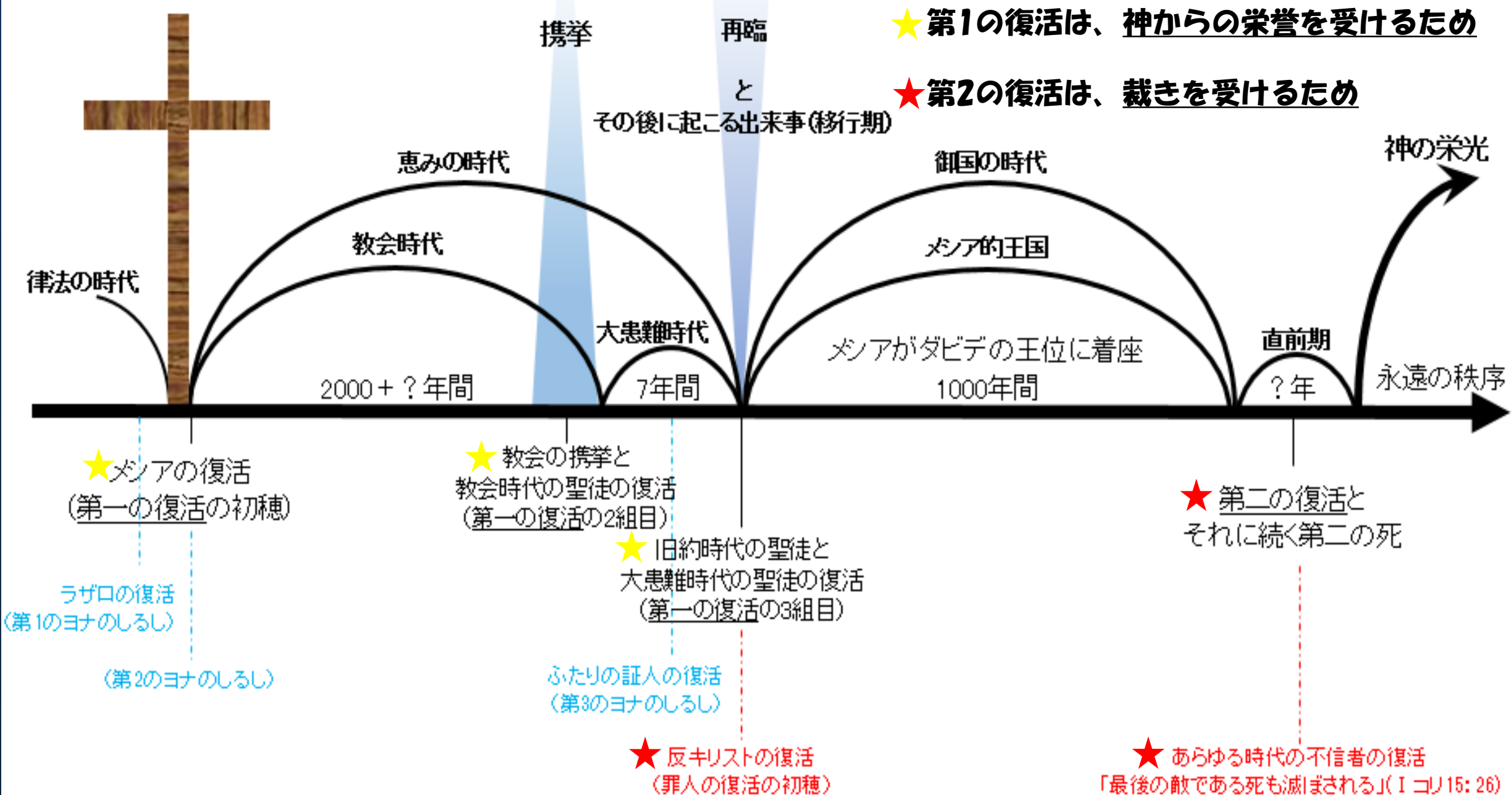
# 全体構造理解の大前提！

## ティスペンセーションナリズム

定義「ティスペンセーションとは  
神の計画が進展していく過程において出現する  
明確に区分可能な神の経緯（時代・時代区分）

- (1) 聖書を字義通りに解釈
- (2) イスラエルと教会を一貫して区別。  
神がユダヤ民族と  
アブラハム契約を結ばれたこと  
それが永遠の契約であることを認める。
- (3) 歴史を貫くテーマは「神の栄光」

時代区分	過去					現在	未来	神の栄光  時間を 超越した 永遠の秩序  <u>黙21:1</u> ~22:5		
	① ~無垢の 時代~	② ~良心の 時代~	③ ~人間による 統治の時代~	④ ~約束の 時代~	⑤ ~律法の 時代~	⑥ ~恵みの 時代~	⑦ ~御国の 時代~			
聖書箇所	創1:28 ~3:8	創3:9 ~8:14	創8:15 ~11:32	創12:1 ~出18:27	出19:1 ~使徒1:26	使徒2:1 ~黙19:21	黙20:1 ~10			
中心人物	アダム	アダム	ノア	アブラハム	モーセ	パウロ	メシア			
1. エデン契約 聖書箇所	→ ・創1:26~31・創2:16~17									
2. アダム契約 聖書箇所		→ 【2】 ・創3:14~19								
3. ノア契約 聖書箇所			→ 【3】 ・創9:1~17							
4. アブラハム契約 聖書箇所				→ 【4】 ・創12:1~3 ・創12:7・創13:14~17 ・創15:1~21 ・創17:1~21 ・創22:15~18						
5. モーセ契約 聖書箇所					→ 【5】 ・出19:3~8 ・広くは出20:1~31:18					
6. 土地の契約 聖書箇所					→ 【6:土地】 ・申29:1~30:1 *特に申29:1に注目					
7. ダビデ契約 聖書箇所					→ 【7:子孫】 ・Ⅱサム7:11b~17(ソロモン強調) ・Ⅰ歴17:10b~15(メシア強調)					
8. 新しい契約 聖書箇所					→ 【8:祝福】 ・エレ31:31~34					





序言「まえがき」(1:1~3) -----> 1:1「イエスキリストの黙示」  
あいさつ(1:4~8) -----> 1:7「黙示録のテーマ」  
I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20) -----> 1:19「黙示録のアウトライン」

II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

第一の封印(6:1~2)	19
第二の封印(6:3~4)	20
第三の封印(6:5~6)	21
第四の封印(6:7~8)	22
第五の封印(6:9~11)	23
第六の封印(6:12~17)	24
患難時代に起こるリバイバル(7:1~8)	25
大患難時代から抜け出て来た異邦人信者(7:9~17)	26

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3)

4. メシア的王国(20:4~6)

5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

結論(22:6~21)

★本日  
第4回

→ 再臨までのプロセス

→ クライマックスは再臨

# 1) 1 : 1 「イエスキリストの黙示」

「1:1 イエス・キリストの黙示。これは、すぐに起こるはずの事をそのしもべたちに示すため、神がキリストにお与えになったものである。そしてキリストは、その御使いを遣わして、これをしもべヨハネにお告げになった。」

# 2) 1 : 7 「黙示録のテーマ」

「 1:7 見よ、彼が、雲に乗って来られる。すべての目、ことに彼を突き刺した者たちが、彼を見る。地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。しかり。アーメン。 」

# 3) 1 : 19 「黙示録のアウトライン」

「1:19 そこで、あなたの見た事、今ある事、この後に起こる事を書きしるせ。 」

# 黙示録の要点

(1) 黙示録のテーマは、**主の再臨とそのプロセス** (黙1:7)

(2) 再臨の条件は、**ユダヤ人の民族的回心** (ゼカリヤ12:10)

(3) 終末論の出来事の流れ

**携拳→大患難時代→ユダヤ人の民族的回心→メシアの再臨→千年王国**

(4) 大患難時代の反ユダヤ主義の最大目的は、**靈的なもの(再臨の阻止)**

(5) 執筆経緯は「**迫害の中にいる人々**」と「**教会全体**」への励ましと矯正

「22:7 見よ。わたしはすぐに来る。この書の預言のことばを**堅く守る**者は、幸いである。」

「堅く守る」とは、「心に留め見張っている状態」を言います。

黙示録のテーマを理解し、主の大いなる再臨の日を待ちましょう！

そして再臨の条件であるユダヤ人の民族的回心を祈りつつ、教会としての責務を果たしましょう！

# ユダヤ人のための祈り

## ロマ10：1「パウロの願い」

\*パウロの個人的願望 \*私たちへの適用

「兄弟たち。私が心の望みとし、また彼らのために神に願い求めているのは、彼らの救われることです。」

- ①パウロは、新約時代の聖徒の例である。
- ②パウロの祈りのテーマのひとつは、ユダヤ人の救いであった。  
\*イスラエル人は、神に関する知識をもってはいたが、  
「キリストにあって」神を知ることはなかった。

# II. 第4回) 黙示録6~7章アウトライン

はじめに

ダニ9章について

(1)6 : 1~2 「第一の封印」

(2)6 : 3~4 「第二の封印」

(3)6 : 5~6 「第三の封印」

(4)6 : 7~8 「第四の封印」

(5)6 : 9~11 「第五の封印」

(6)6 : 12~17 「第六の封印」

(7)7 : 1~8 「大患難時代に起こるリバイバル」

(8)7 : 9~17 「大患難時代から抜け出て来た異邦人信者」

# III. 今後学ぶことの展望(最終回まで)

序言「まえがき」(1:1~3)

あいさつ(1:4~8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

第一の封印(6:1~2)

19

第二の封印(6:3~4)

20

第三の封印(6:5~6)

21

第四の封印(6:7~8)

22

第五の封印(6:9~11)

23

第六の封印(6:12~17)

24

患難時代に起こるリバイバル(7:1~8)

25

大患難時代から抜け出て来た異邦人信者(7:9~17)

26

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3)

4. メシア的王国(20:4~6)

5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

結論(22:6~21)

← 第5a回(5/28) 8~9章

← 第4回(4/16) 6~7章 ★

← 第5b回(5/28) 10~11章、第6回(6/25) 12~14章

← 第7回(7/16)

← 第8回(8/27)

← 第9回(9/24) 19章

← 第10回(10/29)20章

← 第11回(11/26)

← 第12回(12/24)

# IV. 結論：恵みの道について

- (1) 恵みについて
- (2) 聖霊の働きについて
- (3) 信頼すべきもの・愛すべきものについて
- (4) 今という時について
- (5) 伝道について

このメッセージは、大患難時代の意義と前半に起こる出来事について学ぼうとするものである。

ここからが本論！





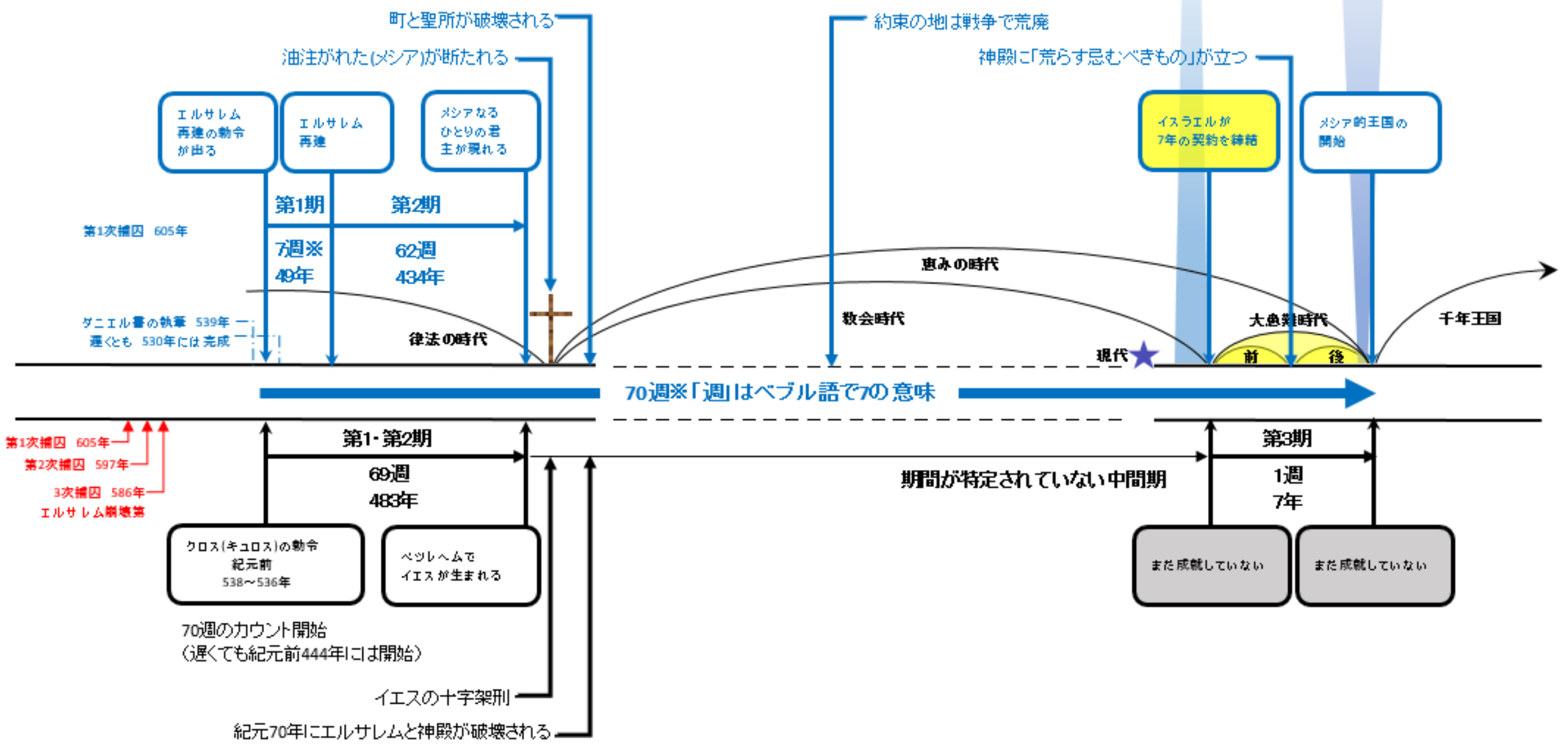
# はじめに

## ダニエル書9章について

～ダニ9：24～27は大患難時代を預言している～

～大患難時代の開始はイスラエルが反キリストと契約を結んだ時～

ダニエル書9章全体の概観図  
9:24~27が中心聖句



# ダニ9：24-27 「70週の預言」

\*70週が定められている \*三つの区分

\*62週の終わりに登場するメシア \*メシアの受難

\*最後の1週 \*半周の間

9:24 あなたの民とあなたの聖なる都については、七十週が定められている。それは、そむきをやめさせ、罪を終わらせ、咎を贖い、永遠の義をもたらし、幻と預言とを確証し、至聖所に油をそそぐためである。 9:25 それゆえ、知れ。悟れ。引き揚げてエルサレムを再建せよ、との命令が出てから、油そそがれた者、君主の来るまでが七週。また六十二週の間、その苦しみの時代に再び広場とほりが建て直される



9:26 その六十二週の後、油そそがれた者は断たれ、彼には何も残らない。やがて**来たるべき君主**の民が町と聖所を破壊する。その終わりには洪水が起こり、その終わりまで戦いが続いて、荒廃が定められている。9:27 彼は一週の間、多くの者と堅い契約を結び、半週の間、いけにえとささげ物とをやめさせる。荒らす忌むべき者が翼に現れる。ついに、定められた絶滅が、荒らす者の上にふりかかる。」

# 「反キリスト」「にせキリスト」

## マタイ24：23-26 「大患難時代の後半」

**\*8つの特徴 \*旧約聖書が預言する再臨の場所**

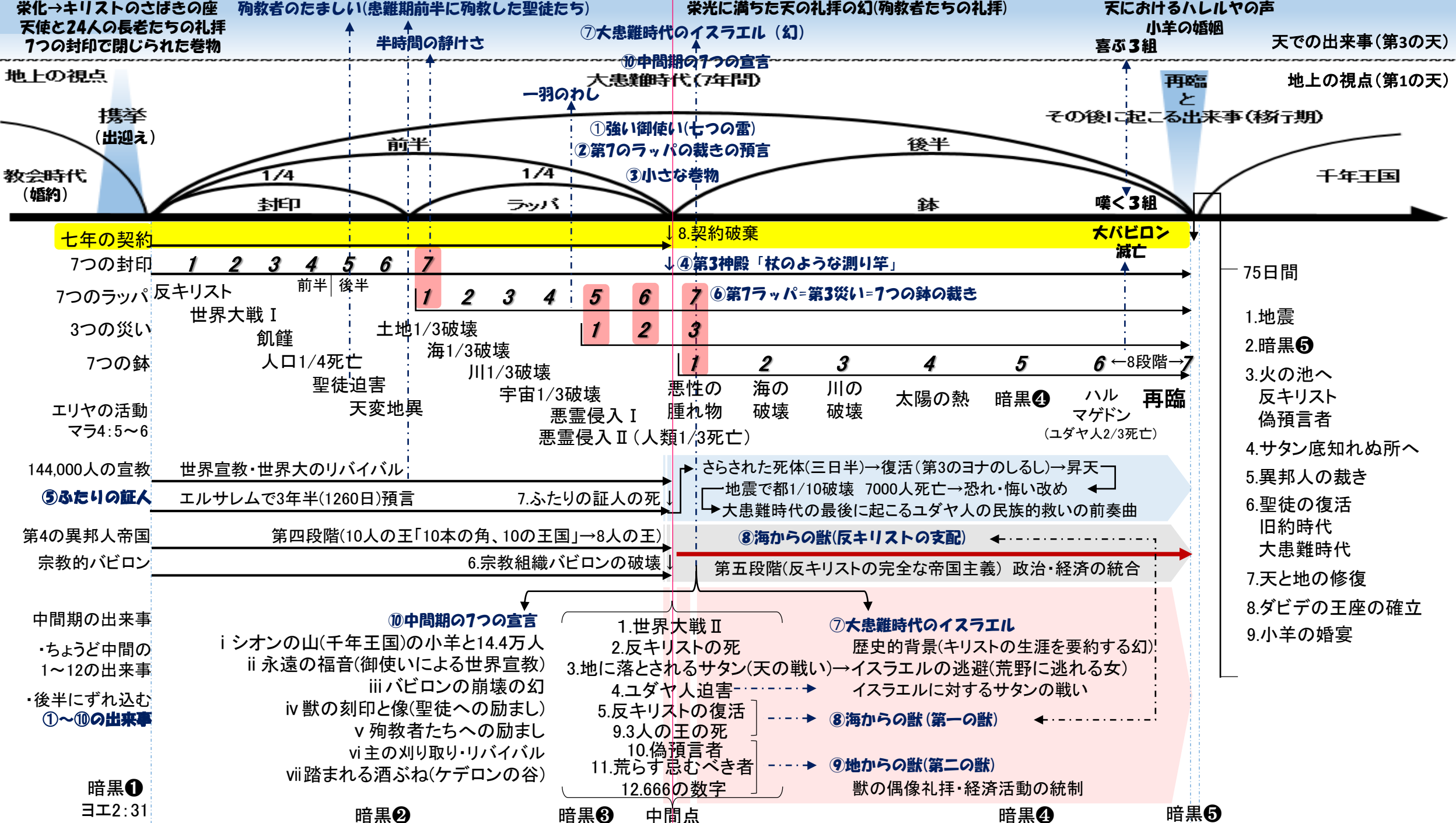
23 そのとき、『そら、**キリスト**がここにいる』とか、『**そこ**にいる』とか言う者があっても、信じてはいけません。 24 **にせキリスト**、**にせ預言者**たちが現れて、できれば選民をも惑わそうとして、大きなしるしや不思議なことをして見せます。 25 さあ、わたしは、あなたがたに前もって話しました。 26 だから、たとい、『そら、荒野にいらっしゃる』と言っても、飛び出して行ってはいけません。『そら、へやにいらっしゃる』と聞いても、信じてはいけません。

# ダニエル書7：24-27「幻の解釈」

\*ダニエル書2章との関連性

\*反キリストの段階

24 十本の角は、この国から立つ十人の王。彼らのあとに、もうひとりの王が立つ。彼は先の者たちと異なり、三人の王を打ち倒す。 25 彼は、いと高き方に逆らうことばを吐き、いと高き方の聖徒たちを滅ぼし尽くそうとする。彼は時と法則を変えようとし、聖徒たちは、ひと時とふた時と半時の間、彼の手にゆだねられる。 26 しかし、さばきが行われ、彼の主権は奪われて、彼は永久に絶やされ、滅ぼされる。 27 国と、主権と、天下の国々の権威とは、いと高き方の聖徒である民に与えられる。その御国は永遠の国。すべての主権は彼らに仕え、服従する。



# 黙示録6章

～封印の裁き～



序言「まえがき」(1:1~3)

あいさつ(1:4~8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)



第一の封印(6:1~2)

\*大患難時代

19

\*大患難時代の目的

\*ダニエル書9章

\*イスラエル国家の建国

\*ぎょうの霊想: 神を見失った世代

\*白い馬に乗った人

\*反キリストの正体

第二の封印(6:3~4)

20

第三の封印(6:5~6)

21

第四の封印(6:7~8)

22

第五の封印(6:9~11)

23

第六の封印(6:12~17)

24

患難時代に起こるリバイバル(7:1~8)

25

大患難時代から抜け出て来た異邦人信者(7:9~17)

26

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

(4)反復: 2つの大バビロン(17:1~18:24)

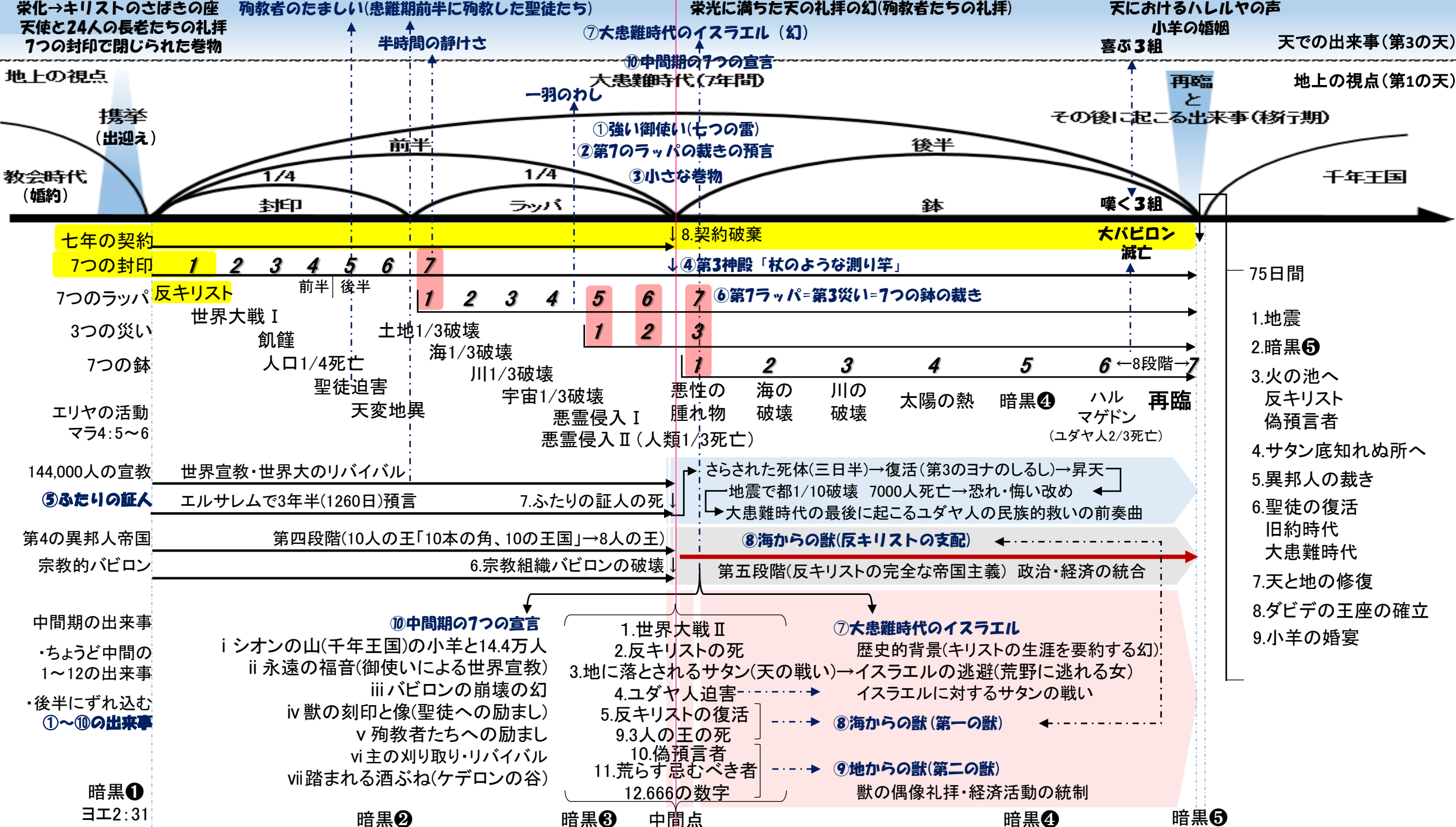
3. 再臨とその後起こる出来事(19:1~20:3)

4. メシア的王国(20:4~6)

5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

結論(22:6~21)



## 19) 6:1~2 「第一の封印」

「6:1 また、私は見た。 小羊が七つの封印の一つを解いたとき、四つの生き物の一つが、雷のような声で『来なさい。』と言うのを私は聞いた。 6:2 私は見た。 見よ。 白い馬であった。 それに乗っている者は弓を持っていた。 彼は冠を与えられ、勝利の上にさらに勝利を得ようとして出て行った。」

# 大患難時代は さまざまなことばで表現される

エシミヤ書30：7「ヤコブの苦しみの時」

\*患難時代の預言 \*ヤコブの希望

30 ああ。 その日は大いなる日、 比べるものもない日だ。 それはヤコブにも苦難の時だ。 しかし彼はそれから救われる。



## 黙示録3：10「フィラテルフィアにある教会」

**\*特徴 \*賞賛のことば**

10 あなたが、わたしの忍耐について言ったことばを守ったから、わたしも、地上に住む者たちを試みるために、**全世界に来ようとしている試練の時**には、あなたを守ろう。

## 黙示録6：17「第六の封印」

**\*天変地異 \*地に広がる恐れ**

17 **御怒りの大いなる日**が来たのだ。だれがそれに耐えられよう。」

# 大患難時代の目的(6章)

## 1. 邪悪を一掃 (イザヤ書13:9)

『見よ。主の日が来る。残酷な日だ。 憤りと燃える怒りをもって、地を荒れすたらせ、罪人たちをそこから根絶やしにする。』

## 2. 世界大のリバイバル (黙示録7章 マタ24:14)

## 3. イスラエルの国家的な新生(ダニエル書12:7)

『すると私は、川の水の上にいる、あの亜麻布の衣を着た人が語るのを聞いた。彼は、その右手と左手を天に向けて上げ、永遠に生きる方をさして誓って言った。「それは、ひと時とふた時と半時である。聖なる民の勢力を打ち砕くことが終わったとき、これらすべてのことが成就する。』

# 主の日

## II ペテロ3：9～12 「再臨の教理」

### \*神と時の関係 \*主の日

9 主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるのではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあらられるのであって、**ひとりでも滅びることを望まず**、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。10 しかし、**主の日**は、盗人のようにやって来ます。**その日**には、天は大きな響きをたてて消えうせ、天の万象は焼けてくずれ去り、地と地のいろいろなわざは焼き尽くされます。



11 このように、これらのものはみな、くずれ落ちるものだとすれば、あなたがたは、どれほど聖い生き方をする敬虔な人でなければならぬことでしょう。12 そのようにして、**神の日**の来るのを待ち望み、**その日**の来るのを早めなければなりません。その日が来れば、そのために、天は燃えてくずれ、天の万象は焼け溶けてしまいます。



## II テサロニケ2：9～10 「反キリストの出現」

\*不法の人の支配 \*キリストの勝利

9 不法の人の到来は、サタンの働きによるのであって、あらゆる偽りの力、しるし、不思議がそれに伴い、

10 また、滅びる人たちに対するあらゆる悪の欺きが行われます。なぜなら、**彼らは救われるために真理への愛を受け入れなかったから**です。

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

★ 第一の封印(6:1～2) 19

第二の封印(6:3～4) 20

\*赤い馬に乗った人 20

\*反キリストの策略

第三の封印(6:5～6) 21

第四の封印(6:7～8) 22

第五の封印(6:9～11) 23

第六の封印(6:12～17) 24

患難時代に起こるリバイバル(7:1～8) 25

大患難時代から抜け出て来た異邦人信者(7:9～17) 26

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

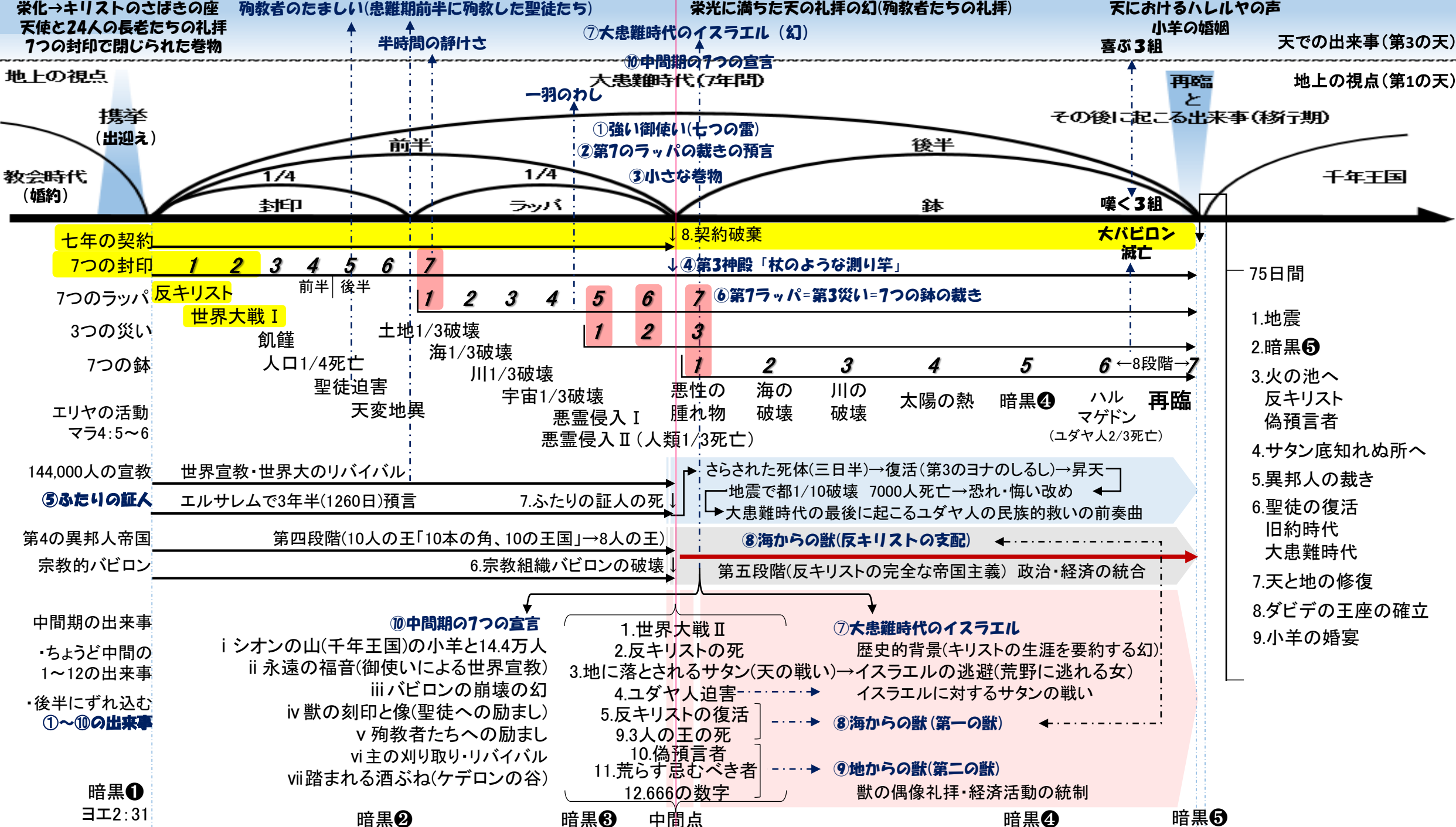
3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)



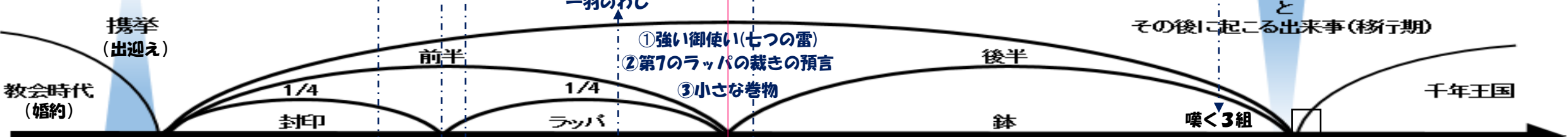
栄化→キリストのさばきの座  
天使と24人の長老たちの礼拝  
7つの封印で閉じられた巻物

殉教者のたましい(患難前半に殉教した聖徒たち)  
半時間の静けさ

栄光に満ちた天の礼拝の幻(殉教者たちの礼拝)  
⑦大患難時代のイスラエル(幻)

天におけるハレルヤの声  
小羊の婚宴  
喜び3組  
天での出来事(第3の天)

地上の視点  
地上の視点(第1の天)



七年の契約

8.契約破棄

大バビロン滅亡

7つの封印 1 2 3 4 5 6 7

④第3神殿「杖のような測り竿」

7つのラッパ 反キリスト 前半 後半 1 2 3 4 5 6 7

⑥第7ラッパ=第3災い=7つの鉢の裁き

3つの災い 世界大戦I 飢饉 人口1/4死亡 土地1/3破壊 海1/3破壊 川1/3破壊 宇宙1/3破壊 悪霊侵入I 悪霊侵入II(人類1/3死亡)

7つの鉢 1 2 3 4 5 6 7

エリヤの活動 マラ4:5~6

天変地異

悪性の腫れ物 海の破壊 川の破壊 太陽の熱 暗黒④ ハルマゲドン(ユダヤ人2/3死亡) 再臨

144,000人の宣教 世界宣教・世界大のリバイバル

⑤ふたりの証人 エルサレムで3年半(1260日)預言 7.ふたりの証人の死

第4の異邦人帝国 第四段階(10人の王「10本の角、10の王国」→8人の王)

宗教的バビロン 6.宗教組織バビロンの破壊

第五段階(反キリストの完全な帝国主義) 政治・経済の統合

中間期の出来事

・ちょうど中間の1~12の出来事

・後半にずれ込む①~⑩の出来事

⑩中間期の7つの宣言

i シオンの山(千年王国)の小羊と14.4万人

ii 永遠の福音(御使いによる世界宣教)

iii バビロンの崩壊の幻

iv 獣の刻印と像(聖徒への励まし)

v 殉教者たちへの励まし

vi 主の刈り取り・リバイバル

vii 踏まれる酒ぶね(ケデロン谷)

1.世界大戦II

2.反キリストの死

3.地に落とされるサタン(天の戦い)→イスラエルの逃避(荒野に逃れる女)

4.ユダヤ人迫害

5.反キリストの復活

9.3人の王の死

10.偽預言者

11.荒らす忌むべき者

12.666の数字

⑦大患難時代のイスラエル

歴史的背景(キリストの生涯を要約する幻)!

イスラエルに対するサタンの戦い

⑧海からの獣(第一の獣)

⑨地からの獣(第二の獣)

獣の偶像礼拝・経済活動の統制

- 75日間
- 地震
  - 暗黒⑤
  - 火の池へ反キリスト偽預言者
  - サタン底知れぬ所へ
  - 異邦人の裁き
  - 聖徒の復活  
旧約時代  
大患難時代
  - 天と地の修復
  - ダビデの王座の確立
  - 小羊の婚宴

暗黒①  
ヨエ2:31

暗黒②

暗黒③

中間点

暗黒④

暗黒⑤

## 20) 6:3~4 「第二の封印」

「6:3 小羊が第二の封印を解いたとき、私は、第二の生き物が、『**来なさい。**』と言うのを聞いた。 6:4 すると、別の、火のように赤い馬が出て来た。 これに乗っている者は、地上から平和を奪い取ることが許された。 人々が、互いに殺し合うようになるためであった。 また、彼に大きな剣が与えられた。」

序言「まえがき」(1:1~3)

あいさつ(1:4~8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

★ 第一の封印(6:1~2) 19

第二の封印(6:3~4) 20

第三の封印(6:5~6) 21

\*黒い馬に乗った人 21

\*飢饉の限界 21

第四の封印(6:7~8) 22

第五の封印(6:9~11) 23

第六の封印(6:12~17) 24

患難時代に起こるリバイバル(7:1~8) 25

大患難時代から抜け出て来た異邦人信者(7:9~17) 26

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)

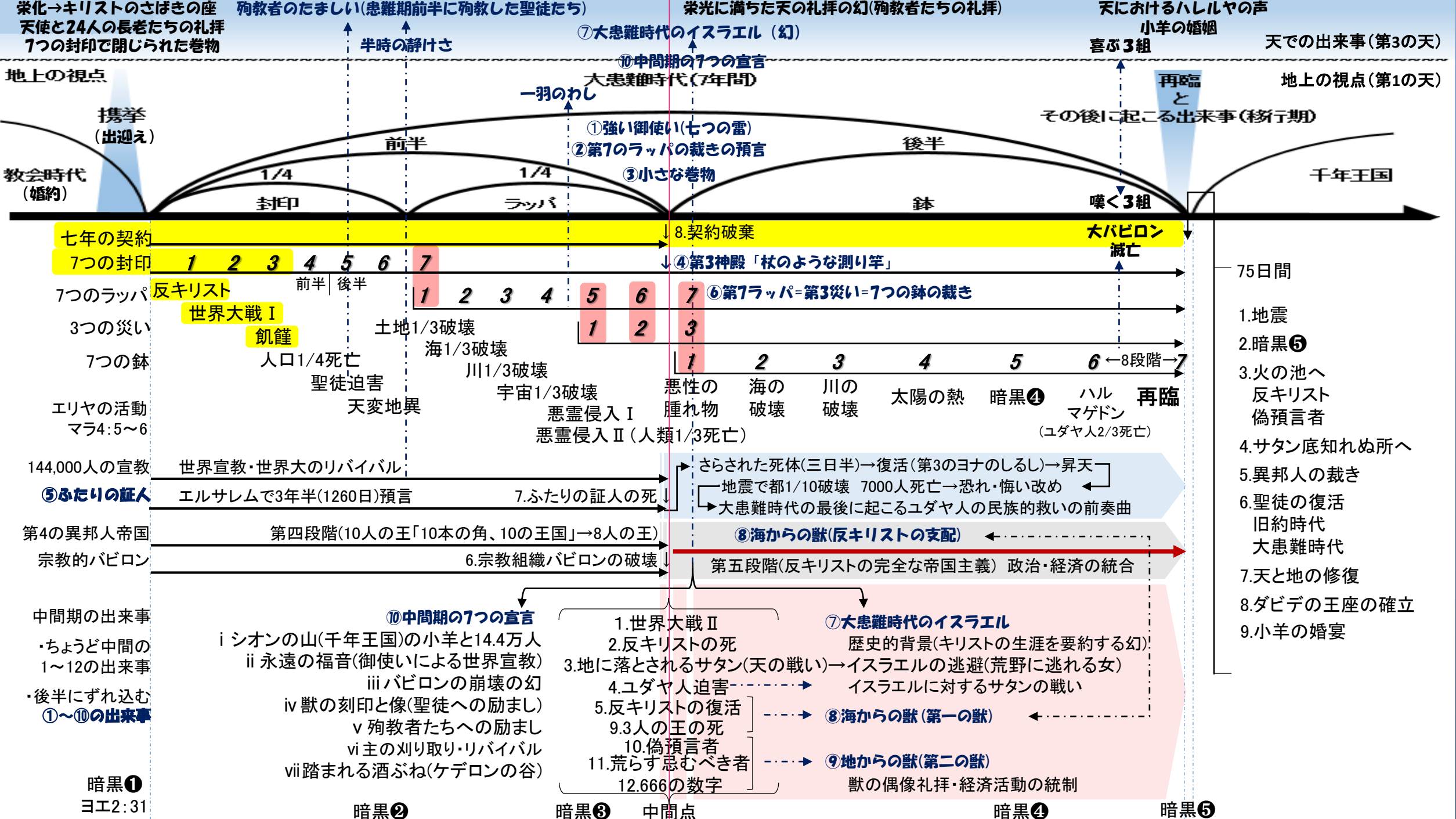
3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3)

4. メシア的王国(20:4~6)

5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

結論(22:6~21)



栄化→キリストのさばきの座  
天使と24人の長老たちの礼拝  
7つの封印で閉じられた巻物

殉教者のたましい (患難前半に殉教した聖徒たち)  
半時の静けさ

栄光に満ちた天の礼拝の幻 (殉教者たちの礼拝)

天におけるハレルヤの声  
小羊の婚約  
天での出来事 (第3の天)

地上の視点

携挙 (出迎え)  
教会時代 (婚約)

七年の契約 → 封印 → ラッパ → 鉢 → 嘆く3組 → 再臨と再臨 → 千年王国

7つの封印: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7

7つのラッパ: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7

3つの災い: 1, 2, 3

7つの鉢: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7

エリヤの活動  
マラ4:5~6

144,000人の宣教  
⑤ふたりの証人

第4の異邦人帝国  
宗教的バビロン

中間期の出来事  
・ちょうど中間の1~12の出来事  
・後半にずれ込む①~⑩の出来事

① 暗黒①  
ヨエ2:31

② 暗黒②

③ 暗黒③ 中間点

④ 暗黒④

⑤ 暗黒⑤

## 21) 6:5~6 「第三の封印」

「6:5 小羊が第三の封印を解いたとき、私は、第三の生き物が、『来なさい。』と言うのを聞いた。 私は見た。見よ。 黒い馬であった。 これに乗っている者は量りを手に持っていた。 6:6 すると私は、一つの声のようなものが、四つの生き物の間で、こう言うのを聞いた。 『小麦一柁は一デナリ。 大麦三柁も一デナリ。 オリーブ油とぶどう酒に害を与えてはいけない。』」

序言「まえがき」(1:1~3)

あいさつ(1:4~8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

★ 第一の封印(6:1~2) 19

第二の封印(6:3~4) 20

第三の封印(6:5~6) 21

★ 第四の封印(6:7~8) 22

\*青ざめた馬に乗った人

\*激しさが増す患難

\*きょうの霊想: 神の不思議な計画

第五の封印(6:9~11) 23

第六の封印(6:12~17) 24

患難時代に起こるリバイバル(7:1~8) 25

大患難時代から抜け出て来た異邦人信者(7:9~17) 26

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

(4)反復: 2つの大バビロン(17:1~18:24)

3. 再臨とその後起こる出来事(19:1~20:3)

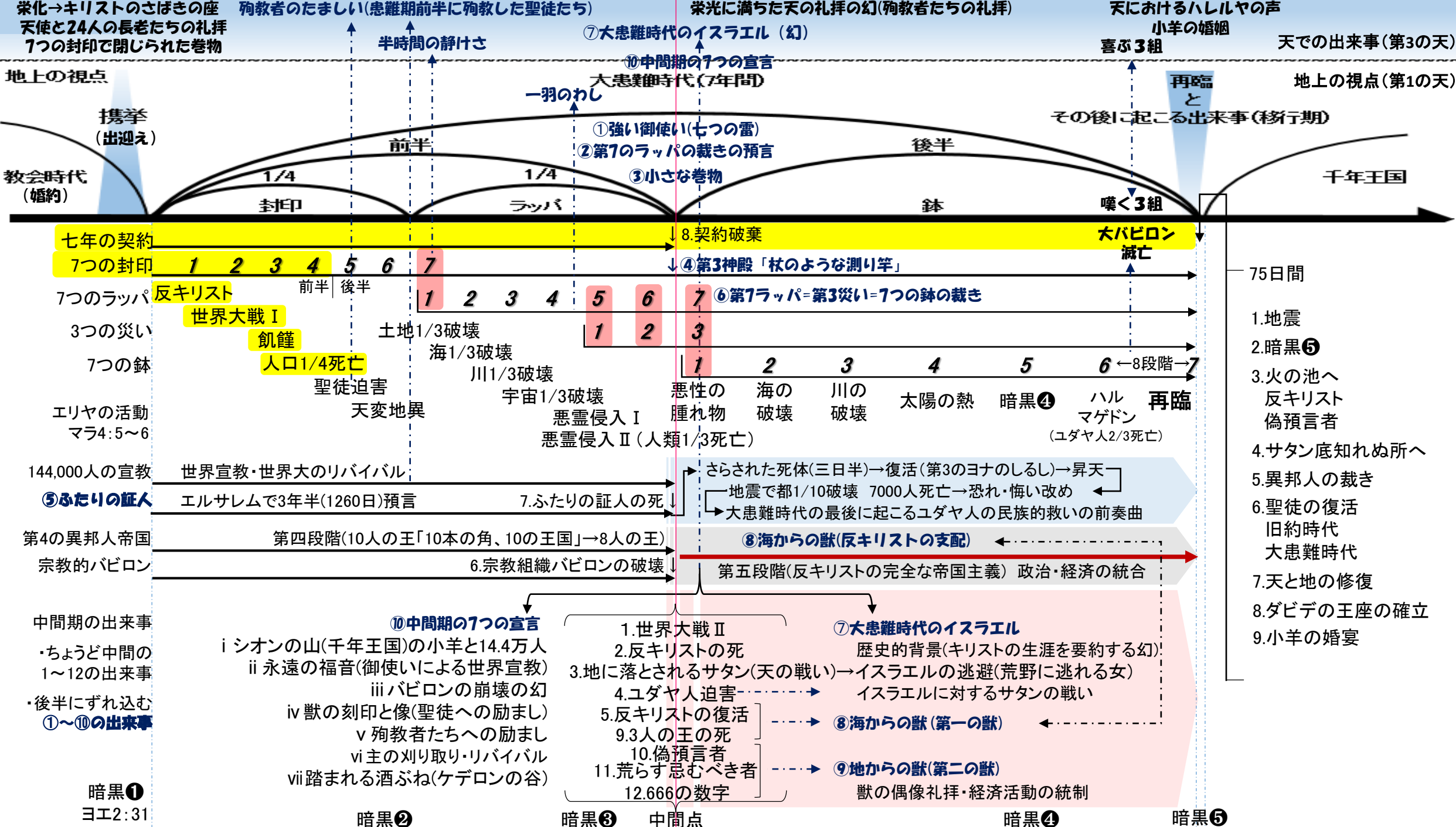
4. メシア的王国(20:4~6)

5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

結論(22:6~21)





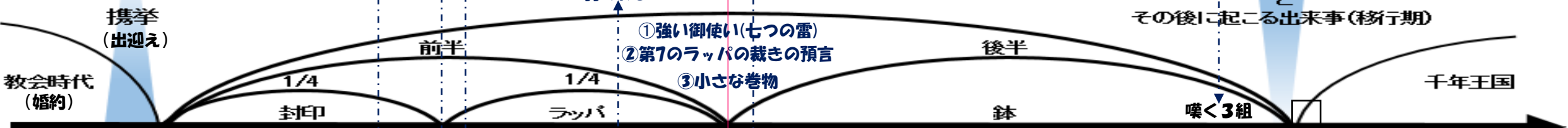
栄化→キリストのさばきの座  
天使と24人の長老たちの礼拝  
7つの封印で閉じられた巻物

殉教者のたましい(患難前半に殉教した聖徒たち)  
半時間の静けさ

栄光に満ちた天の礼拝の幻(殉教者たちの礼拝)  
⑦大患難時代のイスラエル(幻)  
⑩中間期の7つの宣言  
大患難時代(7年間)

天におけるハレルヤの声  
小羊の婚宴  
喜び3組  
天での出来事(第3の天)

地上の視点  
地上の視点(第1の天)



七年の契約

8.契約破棄

大バビロン滅亡

7つの封印 1 2 3 4 5 6 7

↓ ④第3神殿「杖のような測り竿」

7つのラッパ 反キリスト 前半 後半 1 2 3 4 5 6 7

⑥第7ラッパ=第3災い=7つの鉢の裁き

3つの災い 世界大戦I 飢饉 土地1/3破壊 海1/3破壊 川1/3破壊

7つの鉢 人口1/4死亡 聖徒迫害 天変地異 宇宙1/3破壊 悪霊侵入I 悪霊侵入II(人類1/3死亡)

エリヤの活動 マラ4:5~6

悪性の腫れ物 海の破壊 川の破壊 太陽の熱 暗黒④ ハルマゲドン(ユダヤ人2/3死亡) 再臨

144,000人の宣教 世界宣教・世界大のリバイバル

⑤ふたりの証人 エルサレムで3年半(1260日)預言 7.ふたりの証人の死

さらされた死体(三日半)→復活(第3のヨナのしるし)→昇天  
地震で都1/10破壊 7000人死亡→恐れ・悔い改め  
大患難時代の最後に起こるユダヤ人の民族的救いの前奏曲

第4の異邦人帝国 第四段階(10人の王「10本の角、10の王国」→8人の王)

⑧海からの獣(反キリストの支配)

宗教的バビロン 6.宗教組織バビロンの破壊

第五段階(反キリストの完全な帝国主義) 政治・経済の統合

中間期の出来事

⑩中間期の7つの宣言

・ちょうど中間の1~12の出来事

i シオンの山(千年王国)の小羊と14.4万人

・後半にずれ込む ①~⑩の出来事

ii 永遠の福音(御使いによる世界宣教)

iii バビロンの崩壊の幻

iv 獣の刻印と像(聖徒への励まし)

v 殉教者たちへの励まし

vi 主の刈り取り・リバイバル

vii 踏まれる酒ぶね(ケデロン谷)

1.世界大戦II 2.反キリストの死 3.地に落とされるサタン(天の戦い)→イスラエルの逃避(荒野に逃れる女)

4.ユダヤ人迫害 5.反キリストの復活 9.3人の王の死 10.偽預言者 11.荒らす忌むべき者 12.666の数字

⑦大患難時代のイスラエル 歴史的背景(キリストの生涯を要約する幻)!  
イスラエルに対するサタンの戦い

⑧海からの獣(第一の獣)

⑨地からの獣(第二の獣) 獣の偶像礼拝・経済活動の統制

暗黒① ヨエ2:31

暗黒②

暗黒③ 中間点

暗黒④

暗黒⑤

- 75日間
- 地震
  - 暗黒⑤
  - 火の池へ反キリスト偽預言者
  - サタン底知れぬ所へ
  - 異邦人の裁き
  - 聖徒の復活  
旧約時代  
大患難時代
  - 天と地の修復
  - ダビデの王座の確立
  - 小羊の婚宴

## 22) 6:7~8 「第四の封印」

「6:7 小羊が第四の封印を解いたとき、私は、第四の生き物の声が、『**来なさい。**』と言うのを聞いた。 6:8 私は見た。 見よ。 青ざめた馬であった。 これに乗っている者の名は**死**といい、そのあとにはハテスがつき従った。彼らに地上の四分の一を剣とききんと死病と地上の獣によって殺す権威が与えられた。」

# ゼカリヤ書の馬について

第1の幻(1)(1:7~11)

\*8つの連続した幻

\*赤い馬に乗った人

第1の幻(2)(1:12~17)

\*第1の幻の説明

\*7つの祝福

第8の幻(6:1~8)

\*4台の戦車

\*4つの異邦人王国

序言「まえがき」(1:1~3)

あいさつ(1:4~8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

★ 第一の封印(6:1~2) 19

第二の封印(6:3~4) 20

第三の封印(6:5~6) 21

第四の封印(6:7~8) 22

★ 第五の封印(6:9~11) 23

\*殉教者のたましい

\*殉教者の叫び

\*ぎょうの霊想: 殉教者の叫び

第六の封印(6:12~17) 24

患難時代に起こるリバイバル(7:1~8) 25

大患難時代から抜け出て来た異邦人信者(7:9~17) 26

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

(4)反復: 2つの大バビロン(17:1~18:24)

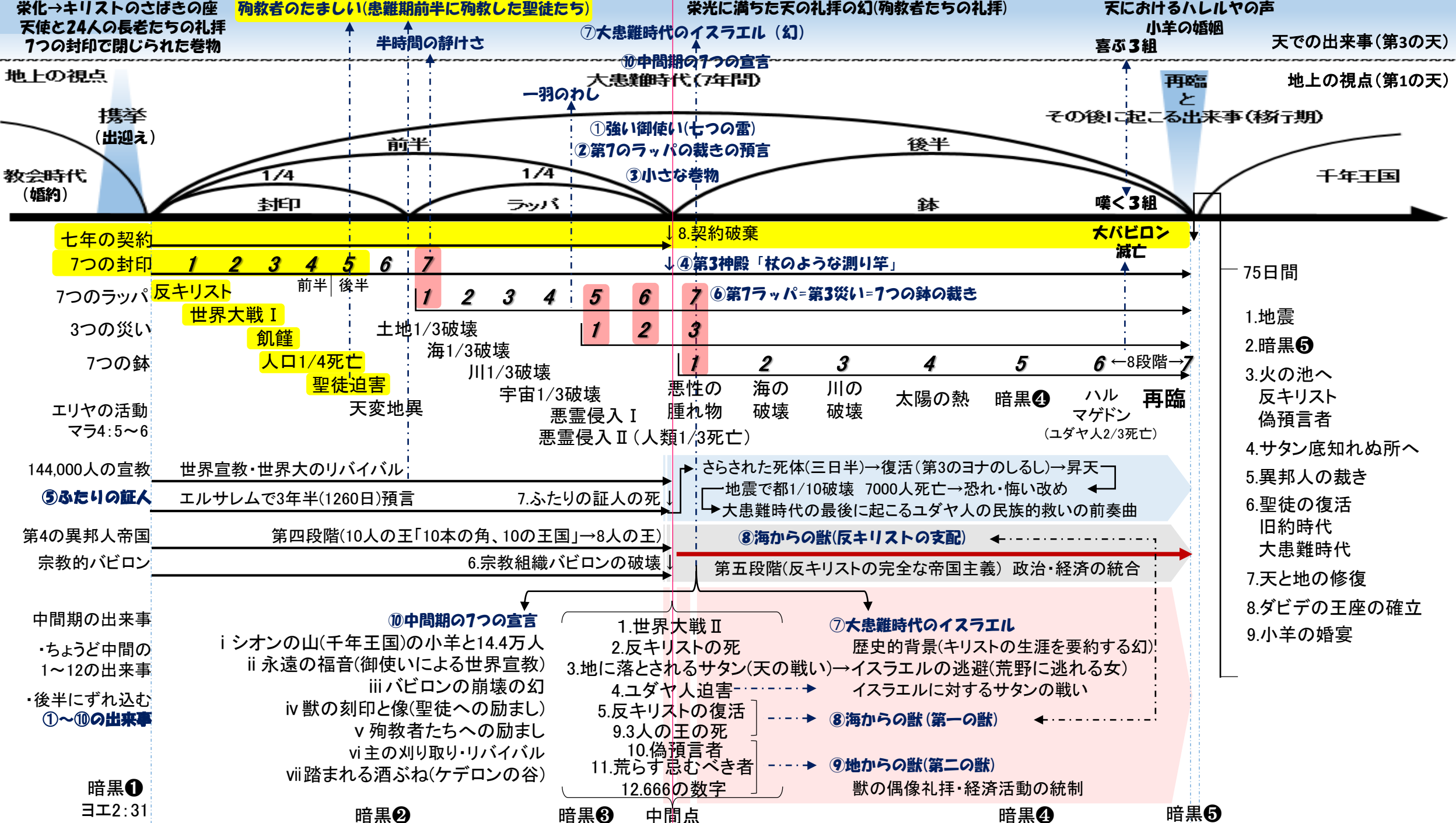
3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3)

4. メシア的王国(20:4~6)

5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

結論(22:6~21)



## 23) 6:9~11 「第五の封印」

「6:9 小羊が第五の封印を解いたとき、私は、神のこと  
ばと、自分たちが立てたあかしとのために殺された人々の  
たましいが祭壇の下にいるのを見た。 6:10 彼らは大声  
で叫んで言った。『聖なる、真実な主よ。 いつまでさば  
きを行なわず、地に住む者に私たちの血の復讐をなさらない  
のですか。』 6:11 すると、彼らのひとりひとりに白  
い衣が与えられた。 そして彼らは、『あなたがたと同じ  
しもべ、また兄弟たちで、あなたがたと同じように殺され  
るはずの人々の数が満ちるまで、もうしばらくの間、休ん  
でいなさい。』 と言い渡された。」

序言「まえがき」(1:1~3)

あいさつ(1:4~8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

★ 第一の封印(6:1~2) 19

第二の封印(6:3~4) 20

第三の封印(6:5~6) 21

第四の封印(6:7~8) 22

第五の封印(6:9~11) 23

★ 第六の封印(6:12~17) 23

\*天変地異 24

\*地上に広がる恐れ

患難時代に起こるリバイバル(7:1~8) 25

大患難時代から抜け出て来た異邦人信者(7:9~17) 26

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)

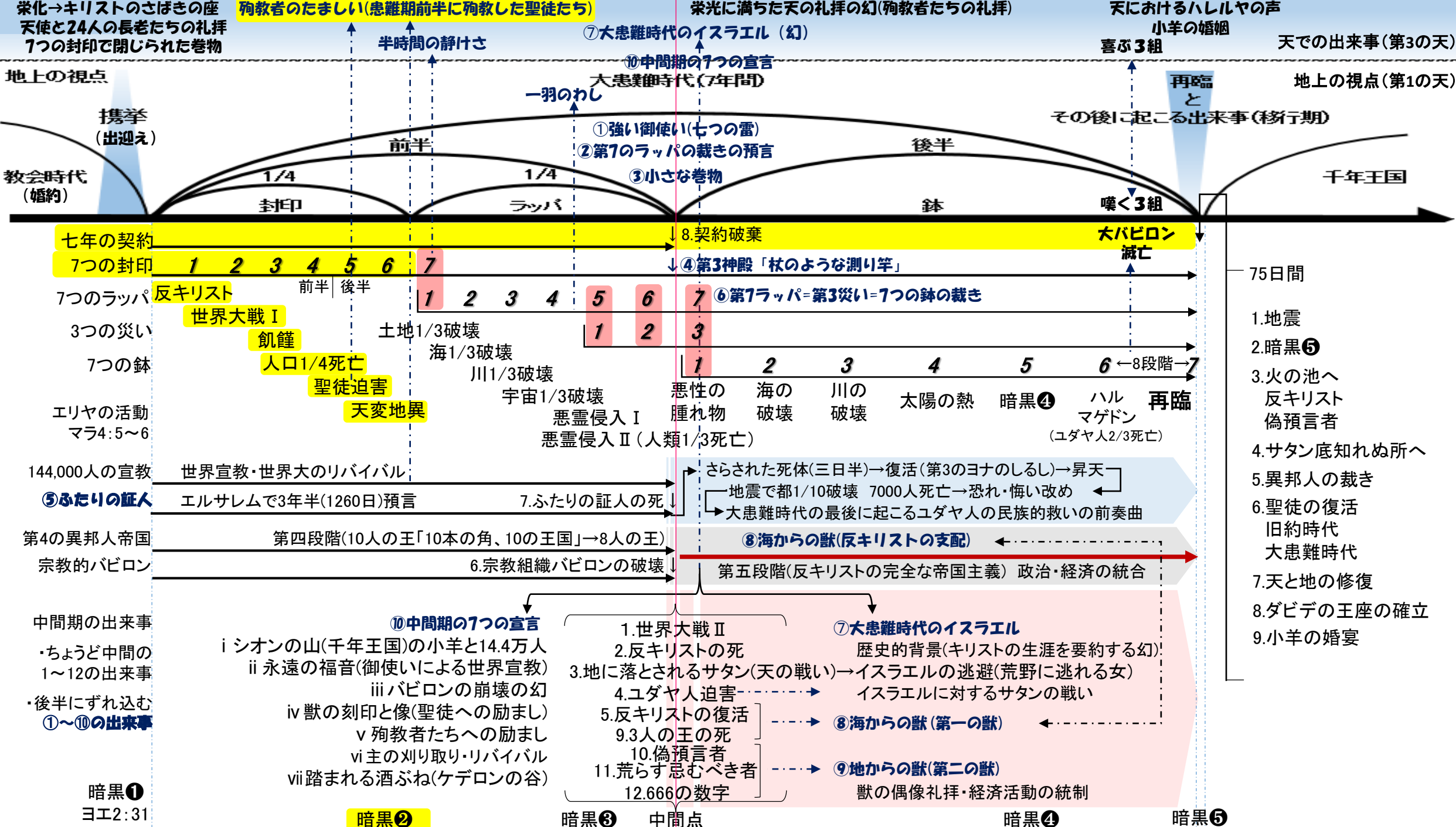
3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3)

4. メシア的王国(20:4~6)

5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

結論(22:6~21)



栄化→キリストのさばきの座  
天使と24人の長老たちの礼拝  
7つの封印で閉じられた巻物

殉教者のたましい(患難前半に殉教した聖徒たち)

栄光に満ちた天の礼拝の幻(殉教者たちの礼拝)

天におけるハレルヤの声  
小羊の婚約  
天での出来事(第3の天)

地上の視点

携挙(出迎え)  
教会時代(婚約)

七年の契約  
7つの封印  
7つのラッパ  
3つの災い  
7つの鉢  
エリヤの活動  
144,000人の宣教  
第4の異邦人帝国  
宗教的バビロン

8.契約破棄  
大バビロン滅亡  
75日間

④第3神殿「杖のような測り竿」

⑥第7ラッパ=第3災い=7つの鉢の裁き

①強い御使い(七つの雷)  
②第7のラッパの裁きの預言  
③小さな巻物

①世界大戦I  
②人口1/4死亡  
③土地1/3破壊  
④海1/3破壊  
⑤川1/3破壊  
⑥宇宙1/3破壊  
⑦悪霊侵入I  
⑧悪霊侵入II(人類1/3死亡)

悪性の腫れ物  
海の破壊  
川の破壊  
太陽の熱  
暗黒④  
再臨

さらされた死体(三日半)→復活(第3のヨナのしるし)→昇天  
地震で都1/10破壊 7000人死亡→恐れ・悔い改め  
大患難時代の最後

ユダヤ人の民族的救いの前奏曲

⑧海からの獣(反キリストの支配)

第五段階(反キリストの完全な帝国主義) 政治・経済の統合

⑩中間期の7つの宣言

i シオンの山(千年王国)の小羊と14.4万人  
ii 永遠の福音(御使いによる世界宣教)  
iii バビロンの崩壊の幻  
iv 獣の刻印と像(聖徒への励まし)  
v 殉教者たちへの励まし  
vi 主の刈り取り・リバイバル  
vii 踏まれる酒ぶね(ケデロン谷)

⑦大患難時代のイスラエル  
歴史的背景(キリストの生涯を要約する幻)!

イスラエルに対するサタンの戦い

⑧海からの獣(第一の獣)

⑨地からの獣(第二の獣)  
獣の偶像礼拝・経済活動の統制

1.世界大戦II  
2.反キリストの死  
3.地に落とされるサタン(天の戦い)→イスラエルの逃避(荒野に逃れる女)  
4.ユダヤ人迫害  
5.反キリストの復活  
9.3人の王の死  
10.偽預言者  
11.荒らす忌むべき者  
12.666の数字

暗黒①  
ヨエ2:31

暗黒②  
暗黒③ 中間点  
暗黒④  
暗黒⑤

- 75日間
- 1.地震
- 2.暗黒⑤
- 3.火の池へ反キリスト偽預言者
- 4.サタン底知れぬ所へ
- 5.異邦人の裁き
- 6.聖徒の復活 旧約時代 大患難時代
- 7.天と地の修復
- 8.ダビデの王座の確立
- 9.小羊の婚宴



## 24) 6:12~17 「第六の封印」

「6:12 私は見た。 小羊が第六の封印を解いたとき、大きな地震が起こった。 そして、太陽は毛の荒布のように黒くなり、月の全面が血のようになった。 6:13 そして天の星が地上に落ちた。 それは、いちじくが、大風に揺られて、青い実を振り落とすようであった。 6:14 天は、巻き物が巻かれるように消えてなくなり、すべての山や島がその場所から移された。 6:15 地上の王、高官、千人隊長、金持ち、勇者、あらゆる奴隷と自由人が、ほら穴と山の岩間に隠れ、6:16 山や岩に向かってこう言った。 『私たちの上に倒れかかって、御座にある方の御顔と小羊の怒りとから、私たちをかくまってくれ。 6:17 御怒りの大いなる日が来たのだ。 だれがそれに耐えられよう。』」

# 「小羊の怒り」 ～現在進行形の真理～ ～終末的な真理～

## ローマ1：18 「異教徒の罪」 「知識の啓示」

18 というのは、不義をもって真理をはばんでいる人々のあらゆる不敬虔と不正に対して、神の怒りが天から啓示されているからです。

## 黙示19：15「キリストの再臨」

\*さばき主キリスト \*王の王キリスト

15 この方の口からは諸国の民を打つために、鋭い剣が出ていた。この方は、鉄の杖をもって彼らを牧される。この方はまた、万物の支配者である神の激しい怒りの酒ぶねを踏まれる。

# 黙示録7章

～前半3年半に起こるリバイバル～

序言「まえがき」(1:1~3)

あいさつ(1:4~8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

第一の封印(6:1~2) 19

第二の封印(6:3~4) 20

第三の封印(6:5~6) 21

第四の封印(6:7~8) 22

第五の封印(6:9~11) 23

第六の封印(6:12~17) 24

★ 患難時代に起こるリバイバル(7:1~8)

\*挿入節 25

\*14万4,000人のイスラエル人たち

\*ぎょうの霊想: 神を見上げることを忘れた牧師

大患難時代から抜け出て来た異邦人信者(7:9~17) 26

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

(4)反復: 2つの大バビロン(17:1~18:24)

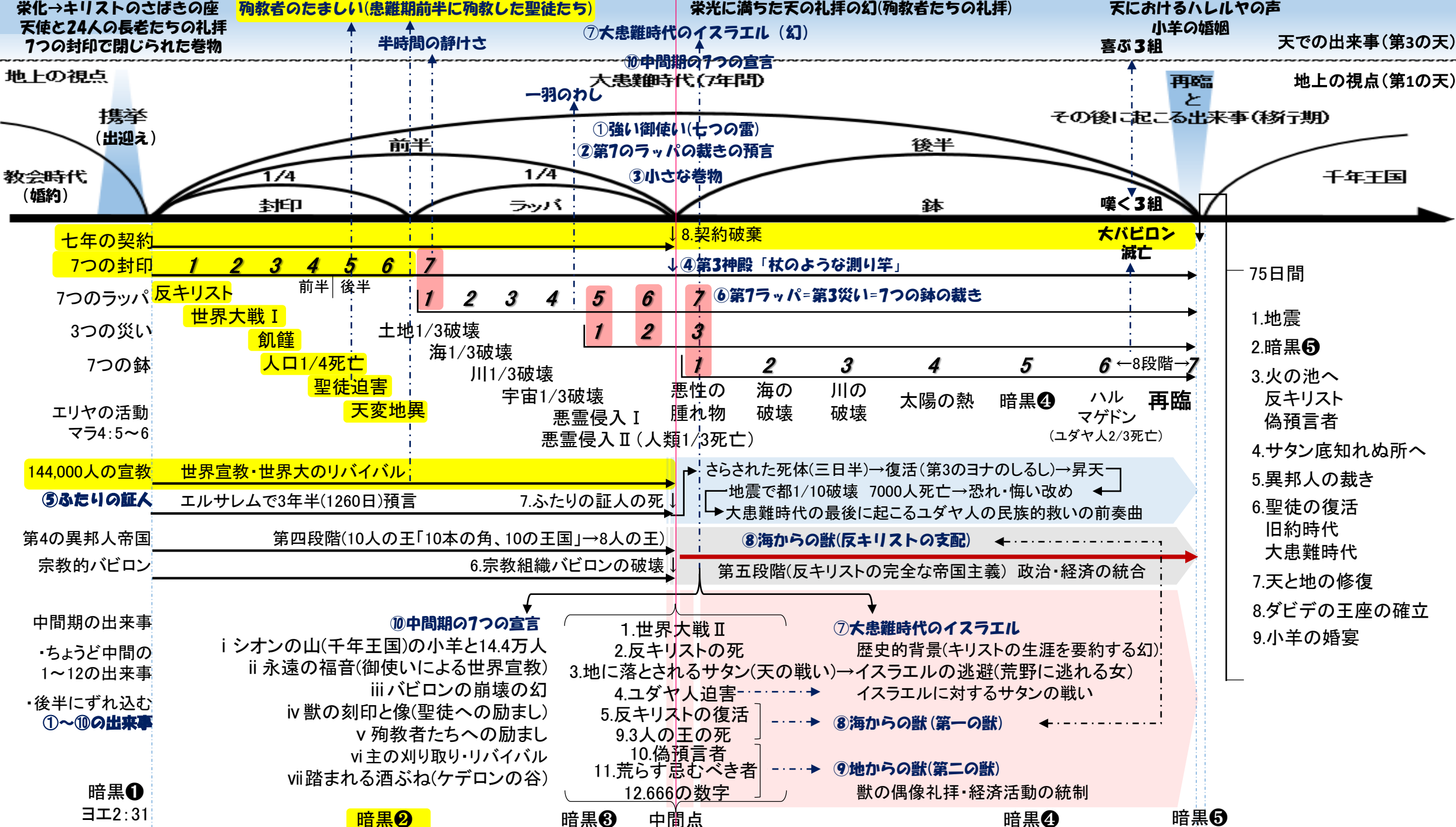
3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3)

4. メシア的王国(20:4~6)

5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

結論(22:6~21)



栄化→キリストのさばきの座  
天使と24人の長老たちの礼拝  
7つの封印で閉じられた巻物

殉教者のたましい(患難前半に殉教した聖徒たち)

栄光に満ちた天の礼拝の幻(殉教者たちの礼拝)

天におけるハレルヤの声  
小羊の婚約  
喜び3組  
天での出来事(第3の天)

地上の視点

地上の視点(第1の天)

携挙(出迎え)  
教会時代(婚約)

その後起こる出来事(移行期)

千年王国

七年の契約

7つの封印

7つのラッパ

3つの災い

7つの鉢

エリヤの活動  
マラ4:5~6

144,000人の宣教

⑤ふたりの証人

第4の異邦人帝国

宗教的バビロン

中間期の出来事

・ちょうど中間の1~12の出来事  
・後半にずれ込む①~⑩の出来事

暗黒①  
ヨエ2:31

半時間の静けさ

⑦大患難時代のイスラエル(幻)

⑩中間期の7つの宣言

一羽のわし

①強い御使い(七つの雷)

②第7のラッパの裁きの預言

③小さな巻物

嘆く3組

喜び3組

再臨と

75日間

- 1.地震
- 2.暗黒⑤
- 3.火の池へ反キリスト偽預言者
- 4.サタン底知れぬ所へ
- 5.異邦人の裁き
- 6.聖徒の復活  
旧約時代  
大患難時代
- 7.天と地の修復
- 8.ダビデの王座の確立
- 9.小羊の婚宴

1/4 封印

1/4 ラッパ

鉢

嘆く3組

7年の契約 → 8.契約破棄

7つの封印 → ④第3神殿「杖のような測り竿」

7つのラッパ → ⑥第7ラッパ=第3災い=7つの鉢の裁き

3つの災い → ①世界大戦Ⅰ ②飢饉 ③土地1/3破壊

7つの鉢 → ④人口1/4死亡 ⑤聖徒迫害 ⑥海1/3破壊 ⑦川1/3破壊

エリヤの活動 → ⑧宇宙1/3破壊 ⑨悪霊侵入Ⅰ ⑩悪霊侵入Ⅱ(人類1/3死亡)

144,000人の宣教 → ⑪世界宣教・世界大のリバイバル

⑤ふたりの証人 → ⑫エルサレムで3年半(1260日)預言 ⑬7.ふたりの証人の死

第4の異邦人帝国 → ⑭第四段階(10人の王「10本の角、10の王国」→8人の王)

宗教的バビロン → ⑮6.宗教組織バビロンの破壊

中間期の出来事 → ⑯⑩中間期の7つの宣言

- i シオンの山(千年王国)の小羊と14.4万人
- ii 永遠の福音(御使いによる世界宣教)
- iii バビロンの崩壊の幻
- iv 獣の刻印と像(聖徒への励まし)
- v 殉教者たちへの励まし
- vi 主の刈り取り・リバイバル
- vii 踏まれる酒ぶね(ケデロン谷)

8.契約破棄

④第3神殿「杖のような測り竿」

⑥第7ラッパ=第3災い=7つの鉢の裁き

① ② ③

④ ⑤ ⑥ ⑦

⑧ ⑨ ⑩

さらされた死体(三日半)→復活(第3のヨナのしるし)→昇天

地震で都1/10破壊 7000人死亡→恐れ・悔い改め

大患難時代の最後に起こるユダヤ人の民族的救いの前奏曲

⑧海からの獣(反キリストの支配)

第五段階(反キリストの完全な帝国主義) 政治・経済の統合

⑦大患難時代のイスラエル

- 1.世界大戦Ⅱ
- 2.反キリストの死
- 3.地に落とされるサタン(天の戦い)→イスラエルの逃避(荒野に逃れる女)
- 4.ユダヤ人迫害
- 5.反キリストの復活
- 9.3人の王の死
- 10.偽預言者
- 11.荒らす忌むべき者
- 12.666の数字

⑧海からの獣(第一の獣)

⑨地からの獣(第二の獣)

獣の偶像礼拝・経済活動の統制

暗黒③ 中間点

嘆く3組

喜び3組

再臨と

75日間

1.地震

2.暗黒⑤

3.火の池へ反キリスト偽預言者

4.サタン底知れぬ所へ

5.異邦人の裁き

6.聖徒の復活  
旧約時代  
大患難時代

7.天と地の修復

8.ダビデの王座の確立

9.小羊の婚宴

⑦大患難時代のイスラエル

歴史的背景(キリストの生涯を要約する幻)

イスラエルに対するサタンの戦い

⑧海からの獣(第一の獣)

⑨地からの獣(第二の獣)

獣の偶像礼拝・経済活動の統制

暗黒④

暗黒⑤

## 25) 7:1~8 「患難時代に起こるリバイバル」

「7:1 この後、私は見た。 四人の御使いが地の四隅に立って、地の四方の風を堅く押え、地にも海にもどんな木にも、吹きつけないようしていた。 7:2 また私は見た。もうひとりの御使いが、生ける神の印を持って、日の出るほうから上って来た。 彼は、地をも海をもそこなう権威を与えられた四人の御使いたちに、大声で叫んで言った。 7:3 『私たちが神のしもべたちの額に印を押してしまいうまで、地にも海にも木にも害を与えてはいけない。』

7:4 それから私が、印を押された人々の数を聞くと、イスラエルの子孫のあらゆる部族の者が印を押されていて、十四万四千人であった。 7:5 ユダの部族で印を押された者が一万二千人、ルベンの部族で一万二千人、ガドの部族で一万二千人、7:6 アセルの部族で一万二千人、ナフタリの部族で一万二千人、マナセの部族で一万二千人、7:7 シメオンの部族で一万二千人、レビの部族で一万二千人、イッサカルの部族で一万二千人、7:8 ゼブルンの部族で一万二千人、ヨセフの部族で一万二千人、ベニヤミンの部族で一万二千人、印を押された者がいた。」



序言「まえがき」(1:1~3)

あいさつ(1:4~8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

第一の封印(6:1~2) 19

第二の封印(6:3~4) 20

第三の封印(6:5~6) 21

第四の封印(6:7~8) 22

第五の封印(6:9~11) 23

第六の封印(6:12~17) 24

患難時代に起こるリバイバル(7:1~8) 25

★ 大患難時代から抜け出て来た異邦人信者(7:9~17)

\*世界宣教の結果 26

\*患難を通過した者たちへの慰め

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)

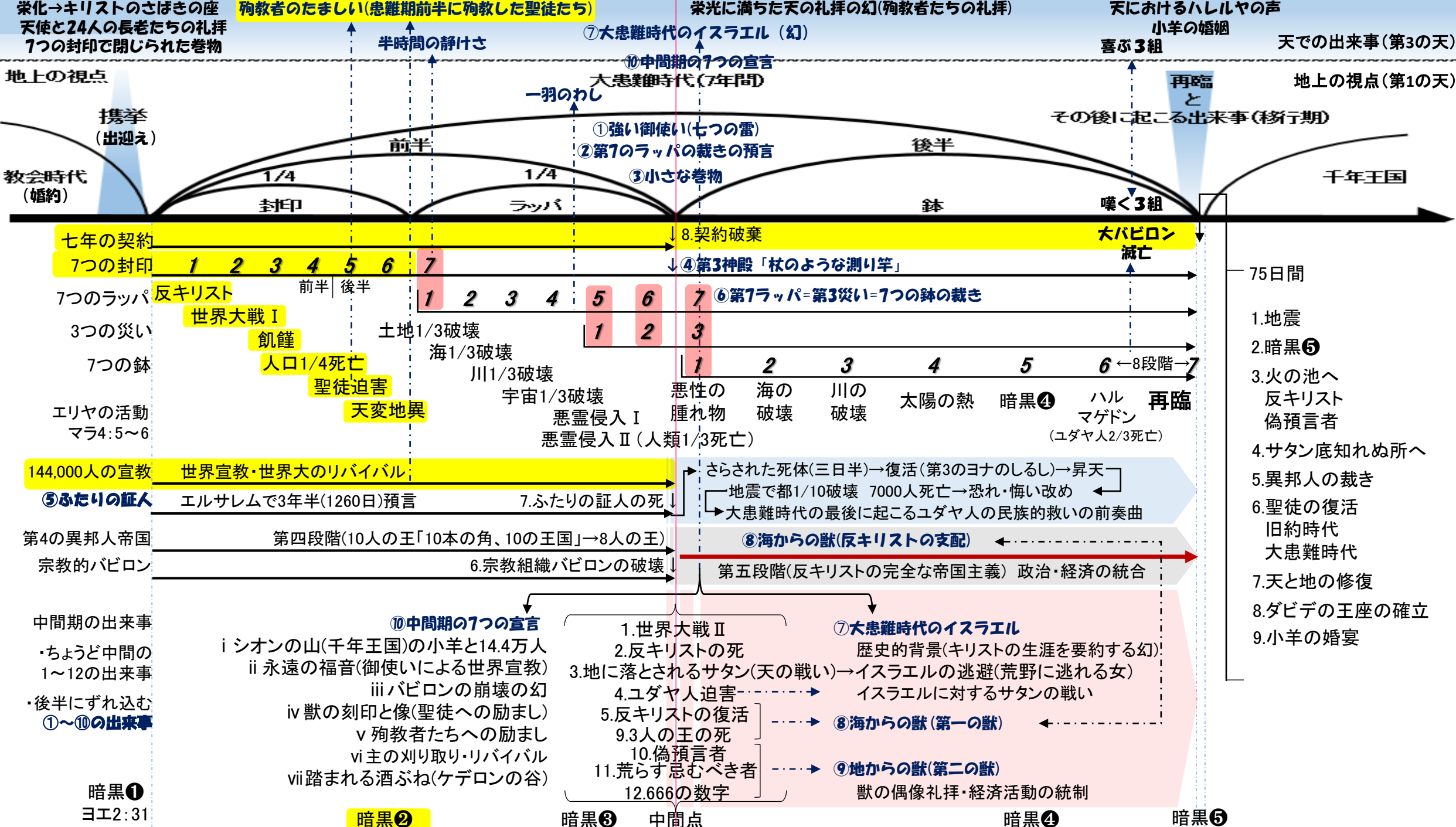
3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3)

4. メシア的王国(20:4~6)

5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

結論(22:6~21)



栄化→キリストのさばきの座  
天使と24人の長老たちの礼拝  
7つの封印で閉じられた巻物

殉教者のたましい(患難前半に殉教した聖徒たち)

栄光に満ちた天の礼拝の幻(殉教者たちの礼拝)

天におけるハレルヤの声  
小羊の婚宴  
喜び3組  
天での出来事(第3の天)

地上の視点

携挙  
(出迎え)

教会時代  
(婚約)

地上の視点(第1の天)

その後起こる出来事(移行期)

千年王国

七年の契約

7つの封印

7つのラッパ

3つの災い

7つの鉢

エリヤの活動  
マラ4:5~6

144,000人の宣教

⑤ふたりの証人

第4の異邦人帝国

宗教的バビロン

中間期の出来事

・ちょうど中間の1~12の出来事

・後半にずれ込む①~⑩の出来事

暗黒①  
ヨエ2:31

暗黒②

暗黒③

中間点

暗黒④

暗黒⑤

半時間の静けさ

⑦大患難時代のイスラエル(幻)

⑩中間期の7つの宣言

大患難時代(7年間)

一羽のわし

①強い御使い(七つの雷)

②第7のラッパの裁きの預言

③小さな巻物

嘆く3組

再臨と

8.契約破棄

↓④第3神殿「杖のような測り竿」

⑥第7ラッパ=第3災い=7つの鉢の裁き

1 2 3 4 5 6 7

1 2 3

1 2 3 4 5 6 ←8段階→ 7

悪性の腫れ物 海の破壊 川の破壊 太陽の熱 暗黒④

ハルマゲドン(ユダヤ人2/3死亡) 再臨

悪霊侵入II(人類1/3死亡)

さらされた死体(三日半)→復活(第3のヨナのしるし)→昇天

地震で都1/10破壊 7000人死亡→恐れ・悔い改め

大患難時代の最後に起こるユダヤ人の民族的救いの前奏曲

⑧海からの獣(反キリストの支配)

第五段階(反キリストの完全な帝国主義) 政治・経済の統合

⑩中間期の7つの宣言

i シオンの山(千年王国)の小羊と14.4万人

ii 永遠の福音(御使いによる世界宣教)

iii バビロンの崩壊の幻

iv 獣の刻印と像(聖徒への励まし)

v 殉教者たちへの励まし

vi 主の刈り取り・リバイバル

vii 踏まれる酒ぶね(ケデロン谷)

1.世界大戦II

2.反キリストの死

3.地に落とされるサタン(天の戦い)→イスラエルの逃避(荒野に逃れる女)

4.ユダヤ人迫害

5.反キリストの復活

9.3人の王の死

10.偽預言者

11.荒らす忌むべき者

12.666の数字

⑦大患難時代のイスラエル

歴史的背景(キリストの生涯を要約する幻)

イスラエルに対するサタンの戦い

⑧海からの獣(第一の獣)

⑨地からの獣(第二の獣)

獣の偶像礼拝・経済活動の統制

75日間

1.地震

2.暗黒⑤

3.火の池へ反キリスト偽預言者

4.サタン底知れぬ所へ

5.異邦人の裁き

6.聖徒の復活(旧約時代大患難時代)

7.天と地の修復

8.ダビデの王座の確立

9.小羊の婚宴

## 26) 7:9~17 「患難時代から抜け出て来た異邦人」

「7:9 その後、私は見た。見よ。あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、だれにも数えきれぬほどの大ぜいの群衆が、白い衣を着、しゅろの枝を手に持って、御座と小羊との前に立っていた。 7:10 彼らは、大声で叫んで言った。『救いは、御座にある私たちの神にあり、小羊にある。』 7:11 御使いたちはみな、御座と長老たちと四つの生き物との回りに立っていたが、彼らも御座の前にひれ伏し、神を拝して、7:12 言った。

『アーメン。賛美と栄光と知恵と感謝と誉れと力と勢いが、永遠に私たちの神にあるように。アーメン。』 7:13 長老のひとりが私に話しかけて、『白い衣を着ているこの人たちは、いったいだれですか。どこから来たのですか。』と言った。



7:14 そこで、私は、『主よ。 あなたこそ、ご存じです。』と言った。すると、彼は私にこう言った。『彼らは、大きな患難から抜け出て来た者たちで、その衣を小羊の血で洗って、白くしたのです。 7:15 だから彼らは神の御座の前において、聖所で昼も夜も、神に仕えているのです。そして、御座に着いておられる方も、彼らの上に幕屋を張られるのです。 7:16 彼らはもはや、飢えることもなく、渴くこともなく、太陽もどんな炎熱も彼らを打つことはありません。 7:17 なぜなら、御座の正面におられる小羊が、彼らの牧者となり、いのちの水の泉に導いてくださるからです。 また、神は彼らの目の涙をすっきりぬぐい取ってくださるのです。』』

# IV. 結論：恵みの道について

## (1) 恵みについて

① 大患難時代にも、過去・現在にも  
今の試練にも、恵みはある。

② あらゆる時に、必ず用意されている恵みの道がある。

**\* 大患難時代の目的…これが成就される時が「再臨の時」**

**1. 邪悪な行為とそれを行う者たちを一掃するため**

**2. 世界大のリバイバルを来たらせるため**

**3. イスラエルの民のかたくなさを打壊すため**

**\* 今の試練に対して**

**「なぜ試練が来るのか」より**

**「試練から何を学ぶべきか」を問う**

**(2)大患難時代における聖霊の働きについて**

**①大患難時代の迫害を通して**

**144,000人のユダヤ人が救われる。**

**②そのユダヤ人を通して更に多くの異邦人をお救いになる。**

**(3)信頼すべきもの・愛すべきものについて**

**①神のみこころ、ご計画(聖書的世界観、歴史観)**

**②聖書の教え(救いとなる真理)**

**③歴史の支配者(聖書の神)**

#### (4) 今という時について(期限がある)

① いずれ教会は取り去られる。

\* やがて活動できない夜が来る。

② 背教の時代(神を見失った時代、真の目的を見失った時代)

\* 聖書の書かれた目的は、「神の栄光」

\* 人間存在の目的は、「神の栄光」を褒め称えること

#### (5) 伝道について

① 恵みの時代である今は、教会を通して宣教が行われる。

② 大患難時代にも144,000人のユダヤ人を通して  
宣教が行われる。

歴史の支配者である神。  
御座にすわる方と、小羊とに、  
賛美と栄光と力が永遠にあるように。

黙示録を学ばれる兄弟姉妹に  
主の特別な祝福がありますように！  
アーメン





# 第4回講解 おわり

## 次回の予定

2016/5/28 (土) in元町

序言「まえがき」(1:1~3)

あいさつ(1:4~8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

第七の封印(8:1~6)	27
第一のラッパから第四のラッパまで(8:7~13)	28
第五のラッパまで(9:1~12)	29
第六のラッパ(9:13~21)	30

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

小さな巻物(10:1~11)	31
異邦人の時(11:1~2)	32
ふたりの証人の死(11:3~7)	33
ふたりの証人の復活(11:8~13)	34
第七のラッパ(11:14~19)	35

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

(4)反復: 2つの大バビロン(17:1~18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3)

4. メシア的王国(20:4~6)

5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

結論(22:6~21)

では学んだことを  
分かち合いましょう！

